

八丈町 News Letter From
Hachijo Town Assembly

議会だより

No.

171

2014.7.25

議会だよりは八丈町のホームページでもご覧いただけます
http://www.town.hachijo.tokyo.jp/gikai/gikai_dayori/gikai_dayori.html



橘丸船内一般公開(上) かめりあ丸最終寄港(下)

目次

第2回八丈町議会定例会

平成26年6月10日開催

- 町に、人口増対策求める 2
- 第2回定例会の質疑から 2
- 一般質問 3

第2回八丈町定例議会

(平成26年6月10日開催)

町に、人口増対策求める



入居希望者がいない町営名古屋住宅(末吉)

日本の人口が急速に減少し、今ある自治体の半数が消滅しかねないとの予測が、新聞やテレビで相次いで報道されました。地元紙にも八丈島の厳しい状況がたびたび掲載されています。今議会では

7名が一般質問に立ち、そのうち4名が少しずつ視点は異なるものの町の人口を増やす施策について質し、この問題が差し迫った問題であることが浮き彫りになりました。

これに対し町は、このテーマを最重要課題と位置づけていくことを明言したうえで、各課を横断したプロジェクトチームをつくる、産業の充実や受け入れ態勢など島内の環境整備に力を入れる、移住者誘致策に前向きに対応する、民間

に動きがあれば企業誘致を支援するなど答弁しました。

補正予算審議でも、戸建ての町営住宅を払い下げることにより定住化をすすめるよう求める意見があり、町は条例を整備した上で対応したいとの

見解を示しました。

町の行政手腕の真価が問われています。答弁は前向きであつてもどれだけ実現されるかが重要であり、議会も追及の手をゆるめずに、今後の推移を見守っていききたいと思っています。

第2回定例会の質疑から

- ◎ 国保の運営が都道府県に移行する見込みは
- ◎ 東京都島しょ振興公社と竹芝の船客待合所のアンテナショップで問題が発生したと聞か、経過と対応は
- ◎ 毛虫が異常発生して口べに被害が出ているが対策は
- ◎ 底土船客待合所の屋上の利用方法の検討を
- ◎ マウイ50周年事業で約50名の来島予定があるの支援を
- ◎ 管理型処分場要綱の改正施行に伴い、八丈住民の手が届かないものになってきているが
- ◎ 難病医療費助成の幅が広がったので周知を
- ◎ 介護保険改正における、要支援者の地域支援への移行が住民に与える影響は
- ◎ 破碎機付油圧ショベルを購入するが、製造したチップを利用するあては

八丈町の人口増加施策は

答 農業、漁業の後継者育成を念頭に置き進める



菊池 良 議員

◆ 所要時間 26分

政府は有識者会議「選択する未来委員会」において中間整理を公表、50年後の人口一億人の維持を目指す目標を盛り込んだ。また昨年改正された離振法では、定住化の促進を図ることを初めて明記した。一方で日本創成会議が発表した試算では、全国自治体の内896自治体が将来消滅する可能性があると指摘され、その中の一つに八丈町もあげられた。本町の人口も8000人を割り込み緊急対策が必要となっている。

閻町として人口を増加させるための指針・目標を持っているのか。具体的な施策が短期的、長期的にあるのか。

閻企画財政課長 指針▽平成23年から10年間の基本構想であり、後期計画策定では人口増加を最重要課題として施策を盛り込んでみた。短期▽担い手研修センター事業、婚活事業の支援、空き家調査等。長期▽再エネ拡大事業。また、定住化促進を掲げ、庁内各課を横断したプロジェクトチームで、町の活性化策、移住や定住策等を検討する。

閻町長は全国離島の副会長なので、その中で話を詰め、

盛り上げ取り組むべきだ。

閻町長 国は日本海の離島を国境離島として位置付けており、東京都の離島より緊急性があるということでも重要視している部分がある。全離島の予算を国境離島に持っていけるというのは、まかり成らない。八丈町の人口問題は、農業、漁業の後継者育成を念頭に置き事業を進めたい。

高校生の国内留学制度の進捗状況は

答 具体的な受け入れ先を決めることが必要

閻町教育委員会はホームステイを基本に進めたいとの考えを示したが、難しい方策だと考える。空いている国の施設等を利用した寮制度方式で行う等、様々な方式を考えた前向で積極的な検討を。また前回、都立八丈高校との話し合いも含め考えていきたいとの答弁があったが、その後の進捗状況は。

海上保安庁の基地の誘致を

答 どのように進めるか今から練りたい

閻教育課長 生徒を受け入れる仕組みの構築が重要。3年間の長期受け入れ先があるのか、謝礼の問題等の課題について検討している。寮を管理運営する費用は町の負担となるので、そうしたことも含め、また、他の町村と情報を共有して実施に向け取り組む。

有する本町に海上保安庁の基地を誘致することを考えては。

閻企画財政課長 東京の島嶼部においては、小笠原に海上保安署があるだけ。議会の意見、港湾施設を利用している東京都や漁協との調整を計りながら方向性を出す。

閻島嶼がいろいろな面で注目されている。排他的経済水域も含めて、今は東シナ海の方が騒がしいが、太平洋側も国境の島である。人口増加の一端にもなる。町長見解を。

閻町長 国や東京都の考え方があってと思うので、話を伺いながら安全面からも守られるということが進めたい。どこから入って行くか今から練りたい。

国は地方の時代といながら、公的機関の中央への集中化を図り、本町では気象・海保・航空局等の撤退、そして子供の減少に伴う学校の閉校など、人口減少に拍車をかけている。一方では中国の海洋進出等で、排他的経済水域のことも含めて、太平洋側とはいえ離島の重要性はますます増しており、我が八丈島も例外ではない。

閻飛行場があり、また港も

人口を増やすために町ができる対策は何か

答

庁内を横断したプロジェクトチームを立ち上げる



奥山 幸子 議員

◆所要時間 21分

町の人口が急速に減っている。全国的にも同様な傾向が見られ、他人事ではない。3月議会では空き公共施設の活用、定住促進、仕事と住宅の確保など、定住人口を増やす施策の必要性が論議された。町は空き家バンクの取り組みなどを示したものの、決定的な打開策は出されなかった。島には仕事がない、選択の幅がないと言われるが、継続的にまとまった情報を見られる場所が必要だ。住宅についても、空き家バンク構

想を進めるべきと考える。

町仕事については、町がハローワークの代わりを担うべきではないか。

町企画財政課長 関係する各課を横断する形でプロジェクトチームをつくる考え

であり、その中で民間と連携した仕組みを検討していく。

町八丈高校の卒業生や島出身者が「島にとどまる」「島に戻る」「働きかけや」「島外から呼ぶ」努力を行うべきだ。

町中学生には職場体験などで町の産業を発信している。専門学校への働きかけは総務課と相談して検討課題としたい。

町住宅について、空き家バ

ンク構想を実現させるための町の具体策は。

町今年度に島内の空き家の実態調査と所有者へのアンケートを実施し、提供可能な空き家の状況を把握したい。寄付を受けた住宅の改修も検討する。

町空き家の整備については、取り組んでいる自治体では「空き家再生等整備事業」で改修しているが、これについてはどう考えるか。

町この事業が町に使えるのか研究したい。条例をつくる必要があると思う。

町固定住推進係をおくべきと思うが町の考えは。

町効果的な町の活性化策、移住定住対策や雇用創出策を企画立案するためのプロジェクトチームをつくる。移住・定住と雇用の促進を両輪で進めていく。係を置くかは未定だが、今年度は準備段階で企画情報係が兼務で行う。

町兼務ではなく「ワンストップ窓口」に専門職員を置くべきだ。また、婚活事業は回数を増やすなどで、事業の拡大を考えては。

町今年度は準備段階なので兼務で行う。事業の拡大は商工会と相談したい。



一貫校制度導入の進捗状況は

答
小中合同でいくつかの取り組みを実施している



山下 崇 議員

◆ 所要時間 22分

回答であった。

岡 本年度から検討を進める
とのことであったが進捗状
況は。

岡 教育課長 道徳の地区
公開講座を小中合同で行っ
た。小学校の担任と中学校
の音楽、理科専科の教諭が
合同で指導を行っている。

本年第1回八丈町議会定
例会において、三原小と三
原中の統合については平成
30年度の統合を目指すとの



三原小学校（上）と三原中学校（下）

これらの
取り組み
を行い、
小中9年
間を見通
した一貫
教育を目
指してい
く。大賀
郷では研
究指定校
として9
年間のカ

リキュラムを研究して示
す。

岡 理科分野への予算配分が
少なく感じる。本年度のコ
ンクール等の日程が前倒し
され、現場では指導者不足、
資機材不足にあるとも聞
く。このような事態を把握
しているか。また、改善す
る具体的な方策があるか。

岡 理科分野の指導者不足や
予算不足は指導者と連携を
図りながら調整していく。

岡 理科コンクールの締め切
りは近い。スピード感をも
って対応を。

岡 理科分野への予算配分は
担当教諭と早急に調整す
る。

人口増加策について

答
Uターン・Iターンの
増加を目指す

中央公論6月号に消滅す
る自治体のリストが載っ

た。人口8千人を割り込ん
だ八丈町も残念ながらリス
トアップされている。もち
ろん、この問題は八丈島だ
けの問題ではないが、まさ
に今直面する喫緊の課題だ
と思う。この問題について
何度も提起しているが、有
効な策が打ち出されていな
い。農業、漁業の後継者育
成を柱に、強く打って出る
べきである。八丈町は、東
北3県からの被災者受け入
れ事業を行い、定住化への
ノウハウはあるはずだと認
識している。

岡 ターゲットを絞った定住
促進策で考えられる物があ
るか。

岡 企画財政課長 平成32年
度までに30歳から45歳まで
のUターン・Iターンの増加
を目指す。農業、漁業の生
産高は都内でも上位で、重
要と考える。担い手育成セ
ンター事業は離島における
先駆的取り組みと考え、産
業観光課等と連携を取りな
がら進めていく。

岡 担い手育成センターは人
数が少なすぎる。先駆的取
り組みというには物足りな
い。平成32年度までにどこ
まで増やせるか示すべきで
ある。

岡 産業観光課と拡大につい
ての連携がとれていないの
で回答できない。関連する
作物からの収入を示せるよ
う努力する。

岡 主要作物の収入平均が回
答できないようでは議会で
質問する意味がない。各種
統計調査から具体的な数字
を集計して計画を立てるよ
う要望する。

岡 産業観光課長 担い手研
修センターは平成20年度か
ら3名・5年でスタートし
た。今後は期間の短縮、農
業経験者の募集も検討す
る。ロベ単体では生活が厳
しいため、換金性の高い作
物も進める。

島の玄関口である底土港に夏場以外定期バスが通っていないのはなぜか

答
難 海の状況により入出港時間が変わるため、夏場以外の運行は困難



水野佳子 議員

◆所要時間 23分

底土港から一番近い東畑のバス停までは上り坂であり、距離もある。特に大きな荷物を持った来島者には大変不評である。観光の島としてはいかがなものか。また、新しく橘丸も就航し、船での来島者も増えることも期待されている。

岡 早急にバス路線を通し、来島者に便宜をはかるべきだ。

岡 企業課長 定期船での来

島者はタクシーの利用や、利用する施設で迎えに来てくれるのが現状。また、定期船は海の状況により入出港が定刻より早まったりすることから、運行時刻が定められている路線バスの通年で利用は困難である。来島者が多く、海の状況が安定している夏の期間は運行する。

岡 納得ができない。お客様が少ないからバスが通らないというのは、いかにもお役所的な回答である。観光のお客様から、どここの観光地でも拠点となるところには交通のアクセスがあると聞いている。新庁舎に1年間以上経過してもバスが通っていない発想と一緒にある。何らかの方法で対処す

べきである。

岡 公営企業管理者 夏場の底土まわりのバスも、末吉路線の一部をやめて運行している。夏場の状況を見て検討する。

岡 三根、護神のバス停は交差点付近に2ヶ所ある。時間によって行き先の乗り場が異なり、特に島外から来た観光客にはバス停がわかりづらいとの声がある。下り線と上り線とに統一すべきである。

岡 企業課長 それぞれのバス停に行き先、終点、および時刻表を、他の路線や行き先の違うバス停の場所については、位置などの説明を明記している。観光で来島された方にも理解できるように明記している。



護神バス停

「島じまん」で町おこしを

答
「島じまん」を実施しない年は、「ミニ島じまん」のような取り組みができないか協議会に提案したい

岡 八丈島だけではなく伊豆諸島への観光客の減少が続いている。今年の「島じまん」は2日間で10万人を動員、島をPRするには絶好の機会である。2年に一度でなく、1年に一度の開催として観光や産業の活性化を進めてはどうか。

岡 産業観光課長 昨年、各島の連携を推進することを目的とした「東京諸島観光連携推進協議会」が組織されたので、例えば島じまんの補完的な役割として「ミニ島じまん」のような取り組みが、島じまんの年の年にできないか提案したい。

岡 新聞紙上で八丈島のポットホールが716個確認され、ギネスの世界記録も期

待できるとの記事が話題になった。観光協会がボランティアに近い形で調査をした結果だと思う。島にしかない自然の素材を活かし、観光客を誘致すべきだ。

岡 観光協会独自の取り組みに対して重要なことをしていただいたと認識している。町と観光協会で連携してギネスに登録できればと考えている。

底土に新しく出来る船客待合所の活用を

答
観光の拠点、住民の学習活動など多目的利用を考えている

岡 島の観光拠点の一つとしてどのように活用するか。

岡 企画財政課長 建物が東京都港湾局と町の合築なので、まず利用協定を結ぶ必要があり、町にとって利便性がよい形になるよう協議する。観光の拠点として活用するほか、住民の学習活動なども含め多目的利用を考えている。

八丈島ならではの資源を活かした
新たな観光の創造を

答

新たな基本計画の中で、中長期
的に検討していく



岩崎 由美 議員

◆所要時間 22分

航空運賃の値上げが予定されている中、八丈島の観光産業は相撲でいえば、俵に足がかった状況である。

園イベントの見直しは例年行っているが、フリージアまつりも含め、理念に基づいて事業内容をさらに大規模に再検討するべき時期ではないか。「まつり」の本質は、地域の人自身が楽しんでいるものを見たり体験しに行くもの。町の人を楽しめないイベントは観光のモチベーションにはならない

のでは。

園産業観光課主幹 フリージアまつりについては、インフィオラータを実施するなど事業内容を充実しているところだが、他の事業も含めまだまだPRが足りない。事業の見直しについては精査をすすめる。第一次産業との連動など付加価値の高い事業となるよう取り組みでいきたい。

園約480万円計上されているフリー

ジアキャラバンについてはもっと予算を減額できるはず。予算は効果的な広報に用いるべきでは。

園本土在住のフリージア娘経験者を募るなど、経費の削減にはつとめていきたい。減額分の予算はPRの充実に使っていきたい。

園航空運賃値上げが避けら

れない状況であるならば、それに対する町としての対応はどのような事が考えられるか。

園航空運賃の値上げは観光客の減少に大きく影響があることを危惧している。その対応ということだが、まず町全体として運賃の引き下げに取り組むことはもとより、観光面では観光資源の整備、また現状では集客PRを積極にすることが重要。今年度はスポーツ団体を対象にアンケート調査、ヒアリング等を実施して戦略の策定を進めていく。

園港湾施設の民間利用は法的には難しく、島らしい観光施設としても活用していくような取り組みでいくべきではないか。

園海面利用協議会へ検討課題として報告する。

園長きにわたって修験者たちにより植えられた吉野の山桜は、現代の人々を魅了する。かつてあちらこちら

にみられ、フリージアまつりのきっかけとなったフリージア畑は失われて久しく、今後の観光振興のためには、八丈島ならではの景観や自然の、たとえば「花の町100年計画」のような長期にわたる観光資源の再生・創造・保全が必須と思われるが、これについての考えは。

園イベント重視ではなく、町並みや自然景観が観光資源として活用されないかということだと思う。町が実施する観光施設整備においては自然と調和した整備を進めて行きたいと考えている。景観の保全については、八丈支庁など関係機関と連携して保全に努めていく。中長期的な課題だと認識している。来年、町の基本計画の見直しもある中で、計画に反映できるように取り組んでいきたい。



フリージア・インフィオラータ

お年寄りや歩行困難者に限り、院内薬局での処方

答
原則外来患者は院外処方



菊池 睦男 議員

◆ 所要時間 28分

問 希望するお年寄りや歩行困難者に限り、院内薬局で処方出来ないか。

答 処方箋を発行する医師に相談してほしい。

問 お年寄りが院内で処方してほしいと言え、ば100%可能か。可能であれば周知と医師、看護師から案内するように改善を。

答 原則は外来患者については院外処方。歩行困難者等に対しては、医師の特別な判断がされれば院内処方でも対応できる可能性があるのを医師に相談を。

問 病院から庁舎へ通ずる道路が完成した。薬局・病院・庁舎へのアクセス、バス停留所の設置等は不都合の無いような配慮されているか。

答 公営企業管理者 2月の運営協議会では話題にならなかった。投書もない。

るか。

答 企業課長 新庁舎と病院にバス停を新設予定。現在ある全ての院外薬局付近にはバス停がある。

問 病院、庁舎間のバスはいつから運行するのか。

答 八丈島警察署に指導をいただきながら申請を進めており、認可申請提出後、許可をいただき運行開始となる。

低廉な航空運賃実現のために

答 国や都に対して航空機燃料税軽減の延長や拡充、空港着陸料のさらなる引き下げを強く要望していく

国交省と全日空への要望活動を行ったが、全日空は値上げ案を撤回せず、執行部と議会を挙げての直訴は失敗の結果に終わった。

問 この問題をどう総括し低廉な航空運賃実現のため

に、何が必要で今後どのような行動をとるのか。

答 企画財政課長 全議員で国土交通大臣、全日空に

を訴えることができたことは有意義であった。値上げ

● こんな質問もしました

低廉な航空運賃実現のために

質問 全日空に対して定期協議の場を設定するべきだ。

答 運賃届け出時に適宜、全日空を訪問して情報収集や意見交換をしていきたい。

質問 都主催による離島航空路地域協議会に「低廉な航空運賃の為」の議案を提案して検討するべきだ。

答 議案内容が明確化できていないので難しい。

質問 離島振興法や離島活性化交付金の使い勝手をよくする為の法や制度の改正、充実に主眼をすべきである。

答 制度改正や事業者、町の負担軽減策について国へ要望していきたい。

質問 全国離島振興協議会の中に航空路線のある離島で

の要因は燃料コストの高騰であり、航空会社の自助努力では飲み込めないと聞いている。今後、国や都に対して時限措置である航空機燃料税軽減の延長や拡充、空港着陸料のさらなる引き下げを強く要望していく。

「航空部会」を新設して、「全離島」の影響力を背景にした強力なアクションをとるべきだ。

答 全離島の総会で全ての離島が一致団結して取り組む最重要課題として決議した。

横断歩道帯とカーブミラー設置について

質問 庁舎入り口の歩道に横断歩道帯の標示を。

答 都道なので支庁土木課に要望があったことを伝える。

質問 大賀郷楊梅ヶ原の支庁職員住宅通りと旧測候所通り交差点のカーブミラー復旧を。

答 幅員が狭く大型車両の接触で何度も破損している。設置位置の変更が可能であるか調査する。

通信販売や健康食品等のコールセンター誘致を

答

他地域と比較して優位性は何かを検討したうえで方向性をだしたい



山下松邦 議員

◆所要時間 14分

NTT、航空局、測候所等の殆どの職員が撤退した。まして、八丈町役場、八丈支庁、最終処分場、汚泥再生処理施設等々、大型建設ラッシュは殆ど終わり、島外からの建設要員も帰った。そして八丈では活気付いていた飲食関係、車両関係等々が悲鳴を上げていると聞いている。島の若者が仕事を探して島外に行くような事にでもなれば、人口減少が加速すると思

う。

図 通信販売や健康食品等のコールセンター、また、電話番号案内等は地方に多いところが多いと聞く。離島でも対応できる仕事はいくらでもあると思うが、誘致をすすめてはどうか。

図 企画財政課長 全国の地方都市が、コールセンター



による雇用創出効果が大きいということ。誘致活動に力をいれている。設備機器購入補助や1人雇ったいくらかといった雇用に対する助成、固定資産税の免除など、さまざまな企業支援制度を掲げている。他地域の支援策が町でも可能なのか、八丈島が他地域と比較して優位性は何かを検討したうえで方向性を出したいと考えている。

図 語学短期養成学校のような企業を誘致しては。

図 昨年度、末吉小学校跡地を活用してのお話をいただいたが、施設規模や学生の人数等の関係で経営的に課題があり具体化まではいかなかった。町でできることは未利用の施設を貸与するなど限られているので、語学学校に限らず条件の合う団体があれば検討する。

国の「地域経済循環創造事業交付金」を使用して、アシタバを始め、農業・水産業の加工工場を作つてはどうか

答

民間で加工場を作る動きがあれば制度の活用を検討する

本年度の総務省予算に

「地域経済循環創造事業交付金」を使った「地域経済イノベーションサイクル」という事業がある。この事業は新規事業を始めたいが、資金が不足しているために事業がスタートできない。つまり資金的に一押しがあれば事業がスタートできて、その後は事業が回り、雇用が生まれて地域の活性化が見込まれるような事業に対して、国が初期投資を支援するというものである。具体的には、「地域の金融機関からの融資」＋「自己資金」＋「八丈町が初期投資の一部を補助」して事業をスタートさせる。その後は事業者が自律的に事業を運営することが前提

で、八丈町が事業者に補助した金額は、全額国の「地域経済循環創造事業交付金」を交付するというものである。

図 このようなシステムを活用して、アシタバを始め、農業・水産業の加工工場を作りたいと考えるが町の考えは。

図 企画財政課長 この交付金事業は事業者、大学等、地域金融機関、自治体、いわゆる「産・学・金・官」がそれぞれの強みを活かして連携し、事業の立ち上げからその後の事業の状況、リスク対応まで関わっていることがポイントになっている。加工場を建設したいという事業者があれば、事前にご相談いただき、八丈町の中でどういった「産・学・金・官」の連携がとれるのかを関係機関と検討したい。

町ナビ

新しくなった底土船客待合所の完成記念式典が10日に開かれた。橋丸の就航に合わせるかのようなタイミングで、島の海の玄関も装いを新たにした。3階建ての新船客待合所は、栈橋側が大きなガラス張りで、明るい光が差し込む開放的な設計。3階には八丈町が利用できる交流スペースもあり、今後の観光や交流事業などでの利用が期待される。屋上からは、360度の新鮮な眺望が楽しめる。



6月定例会主な議決事項

- 専決処分事項の報告及び承認について
(平成25年度八丈町一般会計補正予算)
ほか専決処分2件
- 専決処分事項の報告について
(未納の町営住宅使用料の支払い督促による訴訟について)
ほか報告2件
- 平成26年度八丈町一般会計補正予算
- 八丈町介護保険条例の一部を改正する条例
- 旅券法の一部を改正する法律の施行に伴う旅券の申請受理及び交付等に係る事務委託の変更及び規約の一部の変更について
- 破碎機付油圧ショベル購入契約
ほか契約2件
- 議員の派遣について
(青ヶ島牛祭り)
ほか議員の派遣1件



編集後記

かつては八丈島の漁業を支えていたカツオ漁が、今年は過去10年の平均漁獲高の10%と最悪の水揚げでした。その大きな原因のひとつはカツオのふるさとである中西部太平洋域での乱獲ではないかといわれています。島民の足である航空路線の大幅値上げ、人口減少、観光産業の衰退など、八丈島をめぐる課題は山積です。一方、4月からの消費税値上げなどの税制改革、TPP、集团的自衛権など、この国のかたちを大

きく変えていきかねない問題が私たちを取り巻いています。しかし、その議論には国民の声が反映されているとは思えません。交付金に頼らざるを得ない状況であるとしても、地域が国を作っているという気概をもって、地域行政のために私たちは取り組んでいかなければならないと強く思う今日この頃です。

岩崎 由美

発行人 八丈町議会議長 小澤一美

編集 議会だより編集委員会 委員 山下崇 岩崎由美 水野佳子 奥山幸子

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷2551-2 tel 04996-2-2788 fax 04996-2-5575